

広島

腐食防ぐ工法 全国に展開



「100年使える構造物を増やしていく」と話すのは、コンクリート補修の福徳技研（広島市中区）の徳納剛社長。橋な

どを長く使えるようにする事業が本年度の中国地域ニュービジネス大賞を受けた。

鉄筋コンクリートの内部に亜硝酸リチウムの溶剤を注入し、腐食の進行を防ぐ独自工法。「この溶剤に着目して25年。失敗を繰り返し、ようやく認められた」

今後は建物への普及も視野に、全国に広めていく考えだ。「地味だが、広島発の技術で役立ちたい」と力を込める。 （村上和生）